

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。昨年、新潟県・新潟市は、救急医療のひっ迫の解消のため、救急車を8000台以上受け入れる救急拠点病院を公募しました。以前の豊栄病院ニュースでもお知らせしたように、済生会新潟病院と新潟医療センターが名乗りを上げ、令和5年5月31日に済生会病院がその役割を担う病院として選定されました。その後、両病院とも現在まで順調に救急車の受け入れ数を増やしており、新潟市の救急医療の崩壊は免れたものと思います。今後、救急医療に端を発した新潟市の医療問題は、新潟市の病院再編・統廃合に向かっていくものと思っています。当院は新潟市北区を中心とした地域の医療を守るため、今年もまじめに医療提供を行っていかうと思いますので、よろしくお願いいたします。



今年の当院の新春の飾りつけです。

工藤麻理奈先生(出産を機に、山田から戸籍上の苗字に変更しました)が11月に無事出産、順調なら、この4月から、当院に復帰される予定です。月曜日と木曜日の午前の外来業務と、内視鏡などの検査業務を行っていただく予定です。また、私、宮島は今まで月曜日から木曜日の午前外来及び、金曜

日の午後外来を行っていましたが、4月以降、月曜日の午前外来を休止いたします。患者様には多少のご不自由をおかけするかもしれませんが、ご理解ください。今後は、月曜日を中心に(今まで以上に)在宅医療に取り組んでみようと考えています。

さて、ご不自由といえば、当院の1階に設置していますJAバンクのATMが1月26日で取り扱いを終了します。これは、今年に発行される新札対応のATMに入れ替える費用および維持・管理費用が利用回数に見合わないとのJAの判断によるものです。また、撤去に際して多少の騒音も生じるものと思います。ご容赦ください。



さて、昨年秋当院で、柿胃石の患者さんを6名ほど診察しました。上腹部痛や上腹部不快感を訴える患者さんに対し、上部消化管内視鏡検査を行うことで診断されます(上写真左)。柿の渋み成分が胃酸と反応して水に溶けにくく、粘着性・凝集性を持った物質に変化し結石を形成するようです。その結石が物理的に胃や十二指腸粘膜と接触することで、また潰瘍を惹起することで、心窩部痛などの自覚症状が起こります。コカ・コーラが柿胃石を溶解させる事もあるようですが、内視鏡的に砕いたり・回収することが一般的治療と思われます(写真上、中央;内視鏡処置具で石を破碎、右;網で石を回収・除去)。中には小腸でイレウスを起こして手術を行う症例も見られます。柿の摂食もほどほどにしたほうがよいようです。

発行責任者・文責;豊栄病院病院長 宮島 透